THE WOMAN'S WEEKLY

第四巻　第十八號

大正七年五月三日發行　（毎週發行金曜日）　大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□家政學と日常生活……小島三四子
□時事週評……
□近き將來に於ける日本婦人……三宅博士
□東京女子大學の開校式に臨む……記者
□天才と美人と……越山堯子
□讀者から……
□同情園を開く迄……佳子
□伊豆の大島……つたの子
□東京見較―其の七日「隅田川堤」……記者
□子供のする二つの惡戲……佐久千代子
□數の觀念をかうして養つた……鈴木ときゑ
□五月の節句料理……赤堀式數樹
□子供の智慧……
□オトギバナシ「金の鶏鳥」……悠子
□小説「手紙」……渡邊たみ子
□詩と……編輯室より

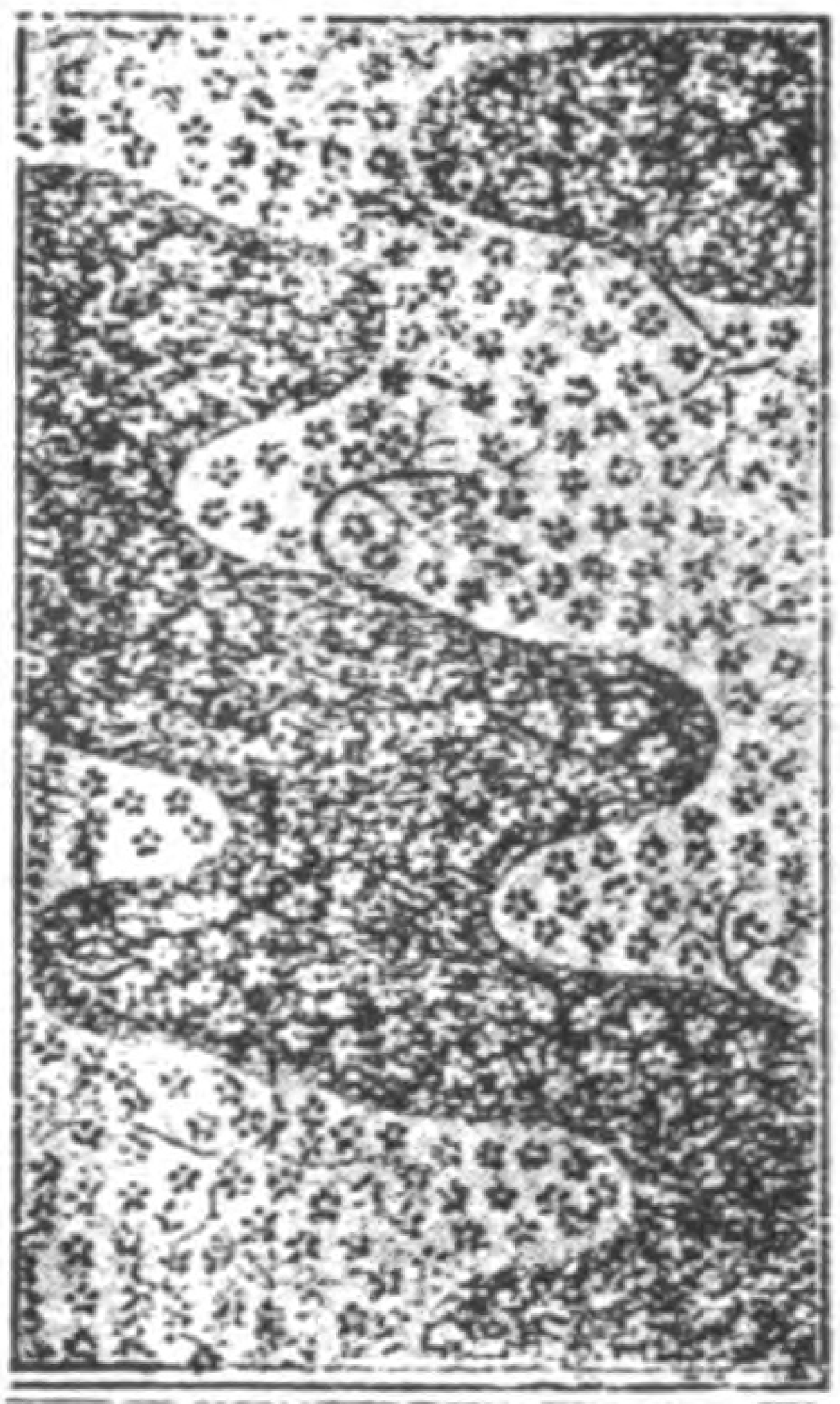
定價一部五錢　郵税五厘

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三越の中形浴衣



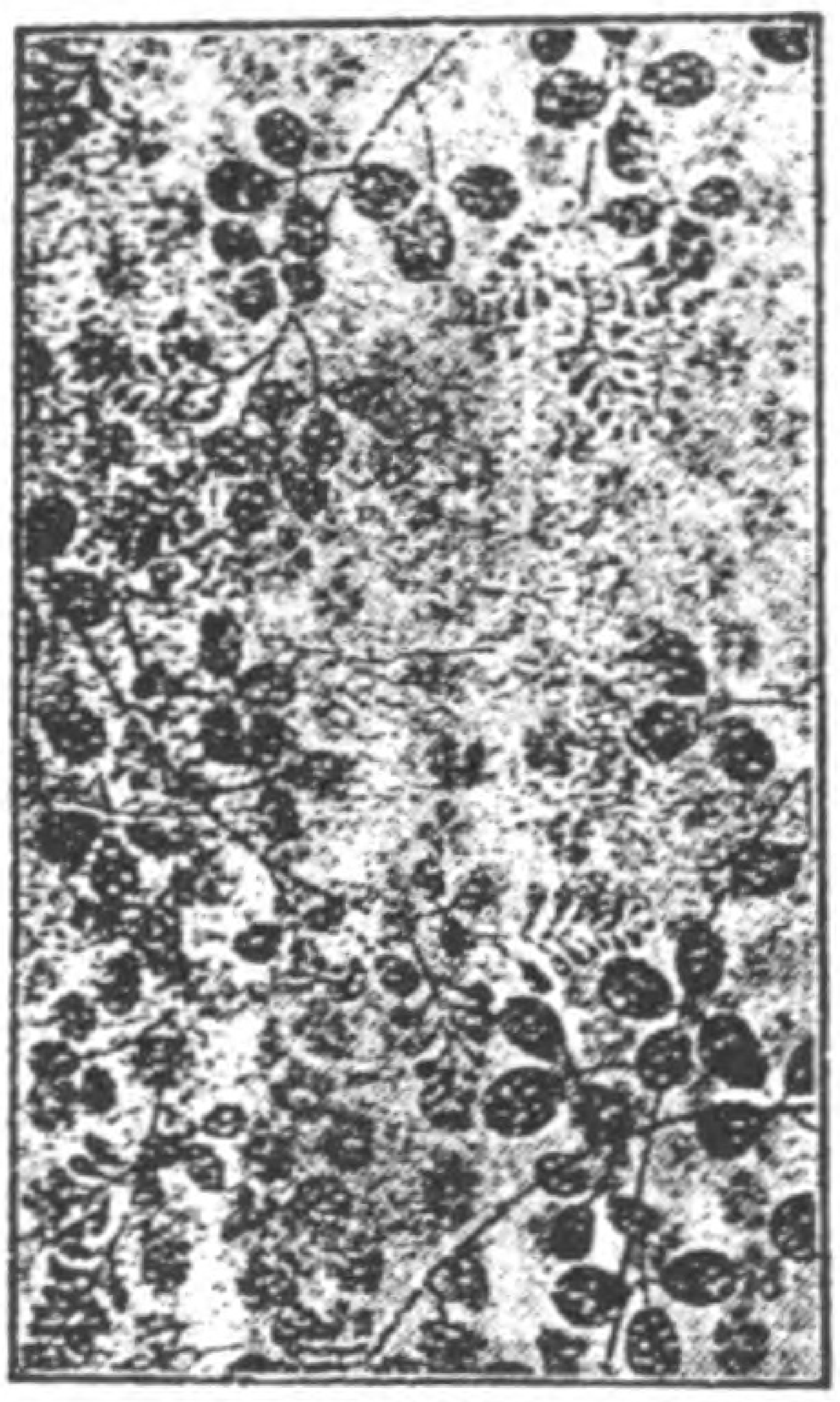
白地紺に水取り櫻の小花模様
眞岡一反二圓九十八錢
縮地一反四圓四十錢也

三越の五月

五月人形陳列會（引き續き四日まで）
東西大家新作繪畫展覽會（一日より七日まで）
武内鶴之助氏パステル油繪展覽會（一日より五日まで）
挿花器陳列（十日より十九日迄）
團扇扇子陳列（廿日より……）
中形浴衣地陳列會（十五日より……）

流行の中形

新緑が滴る様になり、中形浴衣の頃となりました。奥様向きには本染が益々喜ばれ、お若い方には草花模様の藍の濃淡に紺をあしらつたものが歡迎されます。生地は眞岡、巻縮が最も流行を極めて居りますが、本年は薄手の眞岡地が出來ました、其れは第一輕るくもあり、かつお召し心地が非常によう御座います。



淺黄地立涌の白上りに紺
の萩縮地一反三圓八十五錢
眞岡地一反二圓五十三錢

東京駿河町

三越呉服店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家政學と日常生活

□家政學置かれて廿年

家政學が女學校に置かれてから、もう二十年以上にもなります。學校で敎養された家政の知識は、もはや日常生活の上に、立派に生ひ立ち、娘には、母の手から家政學の實際を敎へ得る程の、社會になつて居らなければならぬ筈でありますが、實際はまだなか〳〵其の域に達して居らぬ斗りでなく、學校の家政學は昔と大差ない事を、繰り返しつゝ敎へて居ります。何故家政學が實際生活を動かし、根底から改善する力がないでありませうか、それは女子敎育上、考究すべき緊急の問題であります。如何となれば、女學校の大部分は、この家事に費して居つて、しかもその時間が浪費となり終る事は、國家の損失であるからであります。次に今後の世界戰に於ては、食糧問題を始め、各家庭の力を藉りて、行はなければならぬ事業が多々あるに於ては、その訓練を早く試みなければならぬからであります。

□國家に迄波及せぬ點

今日の家政學は、餘り部分的であつて、國家の一分子なる家の政治といふ迄に理解が及ばぬ事は、高い理想を抱く少女の心に浸み込まぬ第一の原因であらうと思はれます。臺所をこう整理すれば、手數が省ける、こうして小包を作れば、上手に出來る。かうすれば下駄の鼻緒がたつ、客に物を進めるにはかう、婚禮の場合はしか〳〵と敎へるのも誠に結構でありますが、其の時間や勞作の節約も、日常の瑣事を注意深く上手に處理する事も、乃至は禮儀正しく事を行ふのも、それ〳〵の深い原理があり、且つ一家庭内の一擧手一投足が、どんなに國家社會に波動を及ぼすものか、延いてはその總計が、どんな偉大な力になるものかを、具體的に深く心にしめて敎へる事が出來たら、若い生徒等の心にも、家政學といふ漠然とした、しかも卑近な學科の中から、いつも綜合的に高遠な意義を編み出して學んで行く事が出來、從つて興味も湧いてくるであらうと思はれます。

□三角女史の實物敎育

常磐松女學校長三角錫子女史は昨秋本誌に揭げた「落毛を捨つるな」の記事を讀まれて以來、

二

生徒を動かして早速その實行を始められました。毎朝櫛にかゝる二筋三筋の落毛も、集まれば、軍艦の帆綱にまでなる用途の廣いものであり、從つてこの廢物から生ずる金額も、少なからぬ由は、若い生徒の興味を集めて、競ふて其の落毛を持ち寄つたとの事でしたが、更らにこの四月同校第一回の卒業生の出づると同時に組織された美登理會に於ては、この落毛から生ずる金を以て女中の夜學校を開かうとの計畫を發表されました。こうした卑近な事柄を應用して、學生に國家的、社會的觀念を養はれやうと工夫された三角女史は、さすがに熱心な敎育家であると賞揚しなければなりません。落毛ですらもかういふ有益な働きをすると目の前に見せられたら、果物の皮も、大根の葉も、無駄には捨てますまいし、古新聞一枚も、屑籠に投げ込むやうな事は致しますまい。かくて學校に說く卑近な家政學にも生き

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た興味と、大きな意義とが添ふて參るのは、確かであります。

□衣食住改善の叫び

右は一例に過ぎませぬが、學生の興味を惹き出す機會は、親切な教師ならば、必ず多々あるに違ひありませぬ。米一俵を量るにも、上手に量れば四斗になるものを、下手な桝遣ひをすれば三斗八升か八升五合になる、さうすれば一升三十三錢のものとして、五六十錢の損失がある。このやうに三度三度の食事に、僅かの用意を怠ると否とは、數に積れば多額のものであり、これが日本全國民となれば、更らに驚くべき數に上る。この意味で米國の小麥なし日や、肉なし日を説明すれば、いかなる女兒にも國家的に食糧を節約する事の大切な意味が分りませう。食糧の一事を理解しても其の他の衣類、住居等、極めて小さい改良も、積れば一生の利益であり、國家、社會がこれを一般に行へば、國力の節約發展であるとの考へから、日常生活の改善も、自然に起つて參るでありませう

□型に篏つた家政學

家政學が近來組織立つと共に型に篏つたことも、其の知識の活きない大きな原因であらうと思はれます。もと〱家事は、母が實際に當つて指導すべきものでありますが、學問として組織立つと同時に、空論勝ちとなり、また試驗の爲めに、無用な暗記や學習をしなければならぬ事が、どんなにこの學課の興味を殺いで居りませう。實際必要に應じて、筆記をくり返へして見れば濟むむづかしい汚み拔きの藥の名を覺えたり、若い娘が姙娠の徴候を暗記したり、忙しい現代とは駈け離れた小笠原禮式の奧義を覺えたりしなければならぬのは、寧ろ滑稽な程であります。それ故學生は日常生活に家政學を應用する暇もなく、只學課の一つとして重荷に感ずるのみであり、その學んだ知識は、卒業後必要に迫つても、應用する事も出來ない程に、死んで居ります。

□生きた教場を與へよ

家政學の理想は、心ある母によつて行はるべきでありますが、それが望まれなければ、せめて寄宿舍に於て、よい指導者の下に訓練さるゝやうになつたら、この學科の興味が、一層深くなりませう。今日のやうに多大の時間と勞力を費して、益々死學問に赴いて居る事は、教育者の一大反省を促がさなければならぬ點であります。同時に各家庭に於ても、日常生活に目醒めて、其の子女に家政學の生きた教場を與へる心掛けがあつて欲しいと思ひます。日本國民の生活の改善は、あらゆる戰後の國家の事業中、最も根本的のものであります。（三四子）

時事週評

□救貧事業　ディケンスであつたかと思ふ、「貴族と貧民とは割合に結ばれて、中流階級は獨り社會に孤立して居る。」といふ意味を述べて居ります。貧民救濟は昔から上流社會の一つの資格かの如く思ひなされて來ました。今日我が社會も次第に上流社會が救貧事業に心を注ぐやうになりましたが、徒らに金品を惠んで、彼れ等の乞食根性を助長させる事を戒めなければなりませぬ。もし貧民を惠むならば、託兒所を起して、彼れ等の足手纏ひを除いて、勞働の便を圖るとか、其の子女の教育を助くるとか、其の勞働を勵す爲めに慰安を與へる等、少し教育的に金を播くことを務めたいものであります。

□熊に指を咬切られた少女　本鄉臺町の車夫石塚某の妾女は、廿八日の日曜に子供四人を伴ひ、淺草公園の花屋敷へ見物に行きましたが、次女きよ（五才）が熊の檻の前に立ち、鹽煎餅を與へて居る中、興に入つて子供心の怖さを忘れ、前の欄干の下を潛り、檻に近寄つて、右の手を檻の中に差込みました。矢庭に熊は飛び掛つて、少女の手首を掴み、人々の立騷ぐ間に熊は終に拇指を咬切つて、漸く同女を放したさうで、新聞の一隅に書かれてありましたが、母なる人の見逃がされたくない記事であります。まだ母親が附いて居る場合にはともかく、子守や、幼な友達同志、動物園等に遊ぶ場合には、くれ〲も注意してやらなければ、思はぬ大事を招く事がないとも限りませぬ。

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

近き將來に於ける日本婦人

商工業戰に備へせよ

文學博士　三宅雄次郎

□早くよくしたいとの願ひ

人類は常に進歩し發展して居るものである、過去にそうであつた、將來に於てもそうである、捨てゝ置いてもよくなつて行くものである、たゞそれをもつと早くよくし度いといふ願ひが人々にある爲に、其處に人間の努力が生れてくるのである。往年淋しい所を歩くと雲助などいふものが居て、盛んに通行人をこまらせたものであるが、此の頃ではもうそんなものは殆どなくなつてしまつた。又つひ先頃まで辻待の車夫などには、隨分いやな奴がゐて、うるさくつきまとふて、さては酒手を欲しがるやうなものもゐたが、今日では餘程そういふものゝ數を減じたやうである。これらはすてゝ置いてもよくなつて行くものであるが、人は更に早くよくし度いと願ふ。

□婦人界の發展

すべてのことよい方に向いて進んで行くのであるかち、たゞに男子が四海に發展するのみならず女子に於ても亦然りと云ふは當然のことである。女子教育の如き三四十年前までは女學校といふものは一つもなかつたが、現今はどうであらうか、女學校は云ふまでもなく、專門學校高等教育を授くる學校等、その數は非常なものである。これ女子の知識の增進を語るものであつて、將來に於ては更に發達するにきまつて居る。然して婦人の家庭外に於ける運動の如きは、近來續々頭をもたげてきたのであるが、今後はいよ〳〵盛になるであらう。中には有名無實の形式のみの會がないでもないが、多くは社會に國家にそれ〳〵の貢獻をなせる肝要なる位置を占めて居る。我々は將來の日本の婦人がそれらの運動に對して正しき理解を持ち、大に活動せられん事を望むものである。彼の歐米の問題である婦人參政權運動の如きも早晩日本に入込んで來るであらうが、先づさしあたり日本の婦人は戰後の問題に就て深く考へる所があらねばならぬと思ふ。

□困難に鍛へられた腕

現在の歐洲戰爭は、實に幾多の犧牲と困難とを生んで、交戰國は日夜悲慘な事實をつゞけてゐるのであるが、米國の如きは一般國民は食物及燃料の節約等によりて間接の助をするなど只管聯合軍の爲に盡してゐる。それに比べると日本人はかなり呑氣な生活をして居る。僅ばかりの金貨が入つたからといつては、一時的富豪になりすまして大騷ぎをし、浮かれて居る。日本人はやがて戰爭を忘れんとして居る。朝新聞を手にした時、外國電報を眞先に讀む人は何人居るであらうか。又婦人にして現在の戰爭の繼續地點を知れるもの果して幾人であらう。こんな樂々した調子では他日歐米が新たなる力を以て向つて來る時に、日本は何を以て對抗しやうとするであらうかと危まれる、歐米各國は今や其困難の最中にありながらそれによつて將來何ものかを得るに違ひない、それは目に見えて居る。日本が成金で浮かれて居る間に、むかふは困難の中に鍛へ上げた腕をやがて見せるであらう。將來は商工業戰である。これに就て心掛は種々あらうけれど、その最も必要なるは日本國民として他國民

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に對抗するに必要な事を何によらず取り入れる事である。

□被服は内國産を

たとへば今後婦人がある運動の爲に會を組織する場合、その身に着けるものは一切我國の工業を奬勵する爲のものと約するが如きこれである。外國へたゞ金を拂ふに過ぎぬダイヤモンドを光らせるなどは、全廢するがよい。指に胸にダイヤモンドを幾個光らせても、それは、我國の工業上何の利益にもならぬ。金銀は多少我國工業の奬勵に資するかもしれぬが、それよりも衣服に於て盛んに日本製のものを使用するがよい。毛織物などは近來どん〳〵日本で作られるやうであるが、日本のものを用ふれば、内には工業の奬勵になり、外には他國人に日本にはかくかくのものもありと示すから、延いて彼等の需用を促すことゝもなり得やう。かくて商業の發達は計られる。

□婦人の力を須つべきもの

これは何も團體的運動に干與する時のみの話でない、第一家庭に於て然すべきである。多くの家庭がかくある時に社會として、又國家として、そのひろがりを大にして行くものであるから、その影響は甚大である。來るべき世界の新しき舞臺に立つに先だつて、我が國の婦人にこれらの心掛は非常に肝要な事である。（東京社主催講演大要）

東京女子大學 開校式に臨む

▲兼ねて噂に高かつた東京女子大學はいよ〳〵四月卅日、府下淀橋町角筈の假校舍に孤々の聲を擧げた。本校舍はやがて三年以内に永久の地を選定して建築せられると聽く。假校舍の坪數は二千六百坪、建坪千五百餘、友邦米人の手に依つて成りしものである。校舍までの道の兩側にはつゝじの花盛り、自働車に馬車に、輕いスートの運び陸續として、來賓の大半は金髪の人である。市内各女學校長、專門學校長等の顏が見える。マグドナルド博士、モーリス米大使、東京府知事、澁澤男爵其他父兄等三百の來賓を集めたる講堂の中は、黒い男子の禮服と、薔薇の花に飾られたボンネットで美しい。

東京女子大學

▲其中央なる生徒席に、ピアノの進行曲に合せて、八十の生徒が着席する。高き理想高遠なる智識と人格とに憧るゝ彼等の顔は、皆一樣に光りを持つて居る。始めての學生として百〇五人の中より選ばれたる彼等は幸福である。人文科、國漢文科、英文科、實務科、彼等の行く手は多樣である。ミス・メルトンの妙なるピアノの奏樂終ればペニンホフ理事は壇上に立つて祈禱をした。江原理事の聖書朗讀、新渡戸學長の勅語捧讀あり、生徒總代内垣郁子祝辭を述ぶ。來賓としては岡田文相の祝辭代讀、井上府知事、澁澤男、マグドナルド博士、米國大使等の祝辭があつた。

▲『日本が米國に對し何等の事もしてはない。けれども米國人は尊き金迄を以て此樣な立派なものを我國に與へてくれた。開校の時が遲れたので、多くは他の學校へ入學してしまつた後であつたのに、今此處へ集つた皆樣は、是非本校でなければならないといふ決心を持つて待つて居られたものである。更に共强い決心を以つて進んで貰ひたい。印度と支那とに同じ方法で同じ學校が開かれた。支那では入學者がたつた六人であつた、然るに試驗の後今こゝに八十人の生徒が入つて來たのは、悅ばしい事である、……』とは當日學長新渡戸博士の式辭の中の一節であつた。

五

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天才と美人と

彼等は敎育が最も困難

鳩山春子

□天才は脱線し易い

天才は如何に惡い境遇にあらうとも、どんな不用意な指導者の下にあらうとも、あらゆる障害を突破して、强い内の力を以てすく／＼と自然に生ひ立つて行くものと思ふのは大間違ひであつて、實は天才程敎育に骨の折れるものはなからうと思はれます。何故とならば天才は兎角脱線し易い傾向を持つて居るからであります。即ち一方に非凡な能力があるので、自然周圍からも尊敬愛慕されて、萬一他方に大きな缺點があつても、これを許されるのが常であります。自分も亦萬人より優秀な人間であるかの如く感じ、矜りの念が生じ、假令他に缺陷があつてもこれを努力して改めやうと致しません。

□酒色を好む英雄

然るに社會はこれ等天才の長所は企て及ばぬ事とて、其の短所斗りを模倣びます。世人の尊崇の的となる丈け、天才の感化力は强大であつて、一人の天才の惡風は忽ち四方に傳播致します。古來「英雄酒を好む」とか「英雄色を好む」とか云ふその酒色は、傑出した人に伴ふ缺陷であるにも拘らず、酒色に溺れて英雄を氣取る者がなきにしもあらず、といふ有樣なのは、凡人の多い世の中にあつては、止むを得ない事であります。

□氏なくして玉の輿

天才と同じく天の寵愛を蒙つて居る美人も敎育に注意しなければ、世に害毒を流す事は夥しいのであります。世間ではとかく顏が奇麗な子には、敎育が不必要なやうに考へ、氏なくして玉の輿を望んで、早く緣を求めます。また男子も女に敎育があつては、却つて理窟ばかり捏ねて困らうから、成る可く顏の奇麗な、人形のやうに夫の蔭に從ふ女をと望む處から、美人は年頃をも待たで、所謂降るやうに貰ひ手が來るのであります。そして顏の功徳で身分や學德に及びもつかぬ出世するのが、尠なからぬのであります。

□己が虚榮を充たさん爲に

これ等の美人は、家庭に入つて、果して良妻賢母たり得るかは問ふ迄もない事であります。多くは顏を矜つて、只其の美を以て夫の甘心を買ひ、世渡りをしやうとの笑婦のやうなさもしい根性を起し、美の衰へないやうにと顏を磨く事や、衣裝、髮容を飾る事に、時と金とを惜氣もなく費して居ります。其の虚榮を滿足させんが爲めには、家計に無理な工面をしなければならず、遂には夫を敎唆して、收賄等の惡事を働かしむる事は頻々實例のある事であります。しかもその害毒は、一家庭内に止まらず、延いて社會に虚榮の惡風を蒔く事が多いのであります。

六

□社會敎化の上に

もしこの夫や世間に大な勢力ある美人が、立派に敎育されて、其容色に伴ふ智徳が備つて居たら、どんなに社會に良風を及す事が出來ませう。それ故私は美人程、よい敎育、高い敎育をするやうに、社會が早く氣付事を望みます。世の社會改良家と稱ふる者が、不良兒の感化や、低能兒の敎育に力を注ますが、却て天才と美人との敎育を省みて、その天の賜物を善導し、やがて其長所と共に彼等の高尚な品性を社會に貢献せしむるやうに圖る事は、社會敎化の上に策を得たものではないかと存じます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

讀者から

御誌掲載の豆腐の熱冷しを實行して

東京　千代子

▲最早花も散つて瑞々しい青葉に包まれました。其自然の眺めを、すがすがしい氣分と何とはなく希望に充たされた樣な心持ちで讃美せずには居られません。之からは躑躅よ藤よと遊子の心は暫らく忙しい事で御座いませう。御社の皆樣、何時も御變りなく、日々に新に進ませられ、婦人界の良い羅針盤となつて下さる事は何と感謝の言葉も御座いません。毎週の土曜日に御待ち申して、殘りなく拜見致し、御誌によつて勵み、御誌によつて經驗する事が數々御座います。去る二月中より、子供が扁桃腺炎に罹りまして、發熱一ヶ月餘も續きました。主治醫の藥も精を出して飲ませても見、お醫者の云ふが儘に氷嚢で外側から扁桃腺を怠りなく、晝夜冷やし詰めても見ました。けれ共毎日八度から八度五分の熱が續き、心を傷める日が多うかつたので御座います。其折で御座いました、二月十五日御發行の御誌中熱を取るに妙を得た豆腐と云ふ題を拜讀致しましたので、手輕な事と早速朝から氷の代りに試みました處、夕景には七度に下りました。

▲始めの中は半信半疑、豆腐を張る事を怠つて試して見たりはしましたが、張れば熱が下り、怠れば下りませんので、愈々熱に効薬であると信じて實行して居りました。其中或る醫者の云はるゝには、扁桃腺を冷やすと云ふ事は、寧ろ其反對に温めるが良い方法であらうとの御説、素人は迷はざるを得ませんでした。けれ共第二の御説に從つて冷やす事を止め、此度は額に豆腐を張り喉は温める事に致し、此方法でさう〳〵熱を除いてしまひました。或經驗者の話によれば、氷嚢で下熱したと思ふのは本當に下熱したのではなく、一時冷やゝかになるだけですが、豆腐は熱を吸收しますから、例へば體温器で計つて二分減りますれば、其の二分だけは本當に熱が取れた譯になるのだそうで御座います。

▲如何にも子供に試した結果か、さう、うなづかれましたので、延引ながら御禮を申し上ます。どうぞ此後共に精々御自愛遊ばして、益々御指導戴きたいと切に御願ひ申上げるので御座います。

初めて職を執りて

山形市　高津久子

▲東都は葉櫻の新緑が、人の心にみづ〳〵しい希望と、落付きとを與へて居る頃、この地は漸く櫻と梅の花を一時に見る事が出來ました。何となく文明もこれに准じて居るかのやうに思はれます。神戸を去り、當地に赴任の際は御社に御伺ひいたし夜更くる迄しんみりと深味のある、しかも人生に於て考ふべき問題にふれて、お話し下さいました事を、深くお禮申し上げます。先生のお言葉に勵まされて、勇ましく當地に參りましてから、はや四つの聖日を迎へました。この地は傳道地でございますから、なか〳〵傳道は困難でございます。

▲神戸に在つては教會の鐘の音に急ぐ信徒の一人として、百五十名もの日曜學校の子供と共に學び、禮拜して居つた私は、今此の地に來て、二十名足らずの日曜學校を教へ、禮拜するので、淋しい感じを持ちましたが、然し嘗て感じた事のない傳道の責めを覺えました。パウロが「立てよ、汝なすべき事は教へらるべし」と、ダマスコに行く途中、靈感を受けた如く、強められそれだけ神に熱心に祈る事も出來ます。

▲幼稚園等も普通の家で致して居りますから、種々困難も御座います。大きな理想の前に不完全な現實があつて、始めて努力、祈り、超自然の大能に信頼する事が必要となつて參ります。私はこの頃頻りに、かういふ事を實驗します。二十名許りの子供の靈の奥に秘められて居る貴き本能の芽を見る爲めには、餘り自分は汚れて居る事を。よし芽を見出しても、それを聖心のまゝに哺み育てる爲めに、餘りに無能に愛の足らぬ事を。この苦しみ、悲しみの前に己れを低くして祈る事が、私の生活の全部であります。それによつて神に交はる事が、より多くなつて參りました。

▲また周圍からも家庭の幼稚園に對して、理解の少ない事、生活上に樣々な不便、時間の缺乏、財政上の困難、これ等の刺戟によつて、今迄働かされなかつた我が内なる能が目醒め、不便ならざるやう工夫し、生活費を一ヶ月六圓と豫算を立てゝ、超過なしに行つて行きます。今迄よいと知つて斷行しかれた玄米を食し、光澤ある赤い元氣な顔で子供に接する事が出來、家庭の理解を促す爲めに、婦人會や母の會に熱心に働らく事が出來、幼稚園そのものゝ内容の充實に努力する事が出來ます。自分一個としても周圍から餘りめまぐるしい刺戟を受けない事が、却つて勵ましとなり、絶えず向上したいと云ふ願ひから、僅かな時間の中に英語と音樂の勉強をなし、ミシンを習つて手仕事の時間を節したりして居ります。夜分は教育と文學の書物と、幼稚園の話を譯して讀んで居ります。九時迄にそれを濟ませてあとは新聞を讀み、幼稚園の日誌と家計簿と、自分の日記をつけて十時に就床し、朝は五時に起きて、食事の準備をし、子供の來る迄一日のプログラムに從つて準備いたして置きます。私の樣な初舞臺の者には、否誰にも準備は最も大切な一要件と思はれます。云々

七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

同情園を開く迄

郵便函の塗り換えを請負ふて慈善する人

『私は數年前迄は納豆賣をして居たものです、あらゆる貧乏はし盡しました。その上三人の子供を殘して先妻に死なれた時には、しみ〴〵とあぢきなさを感じました。仕事をするにも足手まとひがありましてどうする事も能ません。どうかして保育所の樣なものがあつたらどんなに助かるだらうと、から思ふと同時に、世間には現在自分と同じ境遇に泣いて居る人も多からうと思ひ立つたのが、今日を成す初めなのでした。』

今後藤外相夫人の葬式から戻つた許りの色褪せた折衿の服を着けた同情園の主人、坂卷顯三氏は思ひ除る昔を偲びかに、今日百二十名からの幼兒を預る樣に成つた、同情園の起源を語り出づるのであつた。

そこは氏の住居、八疊ばかりの疊の目も見え分かぬ一間である。子供の玩具がせま苦しくころがつてゐる。次は直に臺所である。後ろの方は廣い板敷きで古びたオルガンが一臺と、黑板が一つ掛つて居る、學齡に滿たぬ子供等、中にはよち〳〵と歩みも覺束ない幼兒が、先生の周圍をとりまいて、騷がしい音をたてゝ居る。話の聲は時々聽き洩らしさうになる。

『私だつて昔からの納豆賣ではなかつたのです。栃木縣矢板町が私の生地で、小學校を卒ると直に縣立の師範へ入りました。ところが運命は惡るい、いたづらをするもので、ひどい眼病のため中途退學して、東京に遊學したのが第一歩のふみ出しで、ふとした風に誘はれて、墮落の淵へ深くもはまり込み、粒々辛苦の父母からの學資金は、殘らず其費につひやされました。どんづまりはこうした不良兒にお定まりのお家勘當、さて今更目が醒めた所で生家へは一歩も歸る事が能なくなりました、……………それはほんとうに重たい恐しいものが、大きな力で押し落された樣に、とめどもない惡魔のちからで私は墮落のどん底へ陷つたのでした。肉身の親の家へ出入を止められた時、ふと私は自分の存在を知つたのでした。もうどうする事も能ない後悔の涙がまだうら若い私の頬を流れた。隅田河原に身を躍らせやうか、汽車の軌道に身を横へやうか、月の暗い晩道灌山の麓に膝を抱いて、いくら悶えた事でせう。墮落の子は斯くして卅一歳の時、當園顧問貴族院議員江原素六先生に救はれたのでした。先生が新宿北裏町の詫住居に小楊枝を削りながら勉强した、といふ傳記を讀んだ時、不幸な子は始めて長夜の夢から醒めたのでした。それから新生活に入つた私は、決然として納豆賣に身をおとし、朝な夕な納豆の苞を擔いで此の界隈を呼び歩きました。』

冷えた茶を啜りながら、永い物語はとぎれた。告白か自白か奇しき一代の物語よ。氏の愛兒は無心に、其の母に抱かれて可愛い齒並を出して笑んでゐる。氏の衿には金紙の櫻の形の中へ〒の字を現はした徽章が附いて居る。其を附するに至つた氏の物語は更に綴いた。

『明治四十三年、私は納豆行商の傍ら徒弟子守の夜學校を起しました。同四十五年には淺草郵便局長の同情を得て、淺草本所四谷新宿四局の自働電話室掃除と、市内十二局の郵便函塗替を請負ふ事となりました。これ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

から生ずる勞銀こそ、今日當園の生命、財源なのであります。保育所の設立は大正二年六月でした。始めは自分の子供に思ひ合せて、同情の餘り小さなものをはじめたのですが、今日世間の要求は餘りに大きう厶いまして、見る〱此樣になりました。子供はふえる、容物は無いと云ふ破目に陷りました。漸く區長始め皆樣の御同情に依りましてこれだけのものが出來たのであります。當園を目當に引越して來て子供を預けて職業につく人もあります。親の職業に依つては夜十時十一時迄も預つてゐる子があります。それは場所柄活動寫眞の便所掃除とか、女給とかといふ人になりますと、どうしても迎ひに來るのがさうなります。同情園といふ名前が變ですが、始めた動機がそれなものですから、さう申して居ります。

私には學問名譽といふ立派な背景はありません、郵便函塗りを業とする一介の勞働者です、納豆賣の爺が何をし得るものかと思はれるかも知れません。けれども幸に多くの同情を得まして、今年は既に五百圓の寄附を頂きました。私はもつと進んで孤兒をも預り、更に親達の勞働を助力したいと考へて居ります……これからお天氣が續きましたらぼつ〱ポストの塗替に出なければなりません。風や雨の日は駄目ですし、それに諸方に離れてあるものですからさういかは行きません。一日よくて十五本も塗れませうか。近頃は塗料が騰りましたのは弱ります。塗換は年に三度位でございます

「イ、エ私は何にも致しては居りません、たゞ臺所の方許りです。皆先生方にお願してありますから……』と、めくら縞の袷に櫛卷の妻なる人は斯う語つた。『ア、帶が解けるよ、解けるよ』子供の群に一人後ろを向いてたど〱しい飛び方をしてゐる一人を見やつて、氏は世話をやく。黒塗りといふ名許りの古びた門を出づれば、子等は物珍しい瞳に記者を見送る。淺草橋場町一八九番地・同情園の屋根は見えなくなつた。玉姫町の貧民長屋を側に見て、電車の通りは眞直である。(佳子)

伊豆の大島

全島椿の村

つたの子

□椿油に名高い大島の人は、私共のまだ綿入れから離れられない頃、もう夏姿に變つて居る。

女の丈なす黒髪が、よく油の廣告にか、れてありますが、決して僞りではない。無雜作に、つい耳の上の方に束ねて居て、元結一本用ゐないで、自然に髮を害はず、延びるに任せてあるからでせう。日に二度となく、三度となく、幾度でも梳きなほして、その度に椿の油をつけるのでツヤ〱と、實に黒光がして居る。

□全島牧畜を業として、女は頭にものをのせて運ぶので、體格がよく、胸圍が非常に廣く發達してゐる。大變に人なつかしく思ふのが、この島の人の美點とでも云ふ可きで、一度顔を合すと、直ぐに近づきになる一度近づきになつたものは、又去る事を非常に悲む、旅人に對して誠に親しく、氣持よく取りあつかつてくれる。朝起きてより夜休むまで、いつも歌をうたつて居る。朝もやの立ちこめた中から、かすかに聞え出して、それが次第にハツキリと聞えて來るなぞは、まるで夢の樣だと評しませうか。

□野も山も椿の木で滿されて、花の盛りに青葉の中に赤い花が鮮かな色彩をなして一種の畫趣何ともいへない。餘りに人に親しみ易い爲め、又よく人にだまされる樣な事もあるが、親もうたひ子も唄ひ、隣りの人も、向ふの家も、皆何事といへば、集つて共に唄ふ樣な、誠に和樂にみちた樂天地別天地である。

□近頃大島に遊んだ友から、面白い手紙を受けました。左に掲げて、大島のこの頃を御想像に任せたいと思ひます。

廿九日朝、到着、目下大に遊び居り候。トニ角大島は面白く、且つヒドク氣に入り候。

其の理由は、一切御想像に任せ申候。小說「波」を讀んで、女護ケ島の大體を察し、先輩によりて、戀の大島を聞き、大體の知識と、豫想とを抱いて參り候。而して「來てビックリ」と能く申候へ共小生はベターな意味に於て、ビックリ致し候。噂以上に、大島は開けて居ない、それだけ、大島氣分は、鮮明で、濃厚に御座候全島椿の村にて、花に今ボタ〱と、雨にぬれて、落ち居候。椿花の下を牛をひいた、若い女が、頭上に荷物を載せて赤い唇から、ウツトリする樣な、大島節を歌ふ樣を、御想像遊ばされ度候。

小生の拙き叙述を連ぬるよりは、却て判然、大島の有樣が、浮ぶかと察候。大島節は十二日かゝつて、やつと十二三覺え申候 イツレ實物教授に罷出づ可く候。牛乳は馬鹿に安く。三合で東京の一合分にて候。

人の名前も大分知り申候。一度話せば、千年の知己の如き感致し候歸京して、ノートに赤線を引くよりも、一生、暮して見たく候。之は少々、誇大に候へ共、單純な社會がヒドク愉快に候。歌といふ歌は、生活を語らず、情實を傳へず、唯「戀」の表現にて候。水汲む女の、一擧一動も、牛曳く女の、一擧一動も、戀に始まり、戀に消えて行く面影有之候。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京見物

隅田川堤

其の七日

▲櫻は過ぎた隅田川堤、行けども、行けども盡きぬ水と樹と、向島の春は漸うに更けて行く、『我が思ふ人はありやなしや』と言問はれし都鳥のかげいづく、在原業平朝臣が、吾妻の旅路の夕暮も、さこそと思はるゝは、古雅な館舟、棹さす人の印袢纏に大髷の見えぬこそ恨みである。鳥打にうす色の合服、ステッキ振りふり、葉巻くゆらするは今業平か、庇髪分け前髪、さては都見物の一團が、紺の裾廻しいたくもまくり上げてからげたるが、吾妻橋の上からは知らぬ水面を見やつてゐる。一錢蒸汽がスーッと足の下から拔け出る、モーターが大きな波を掃らせて行き越す、石砂を積んだ舟がのろり〳〵と浮んで來る、昔は知らず、隅田の水も忙しい事ではある。

▲吾妻橋を渡つて見える赤煉瓦は、大日本ビール會社吾妻橋工場である。水の流れに添ふ我が身は、これからどこまで辿るのであらう。一里餘の長堤目に入るものこれ櫻、水は花を、花は水に、浮べ映して逝く春に人は酔ふ、名殘の若葉風にそよぎ、名殘の蕚は焦げ茶色にしぼんで、地の凹みに溜つて居る。

隅田の流れ

竹屋の渡しに人影あり、「ゆふだちや田をみめぐりの神ならば」三圍神社を通つて更に行く。牛島神社は牛の御前とて、參詣の人の足を斷たぬ。犬はりこを下げた人力車、七子の紋附に包まつたお宮參りの子を抱いた人達が、見える。長命寺の櫻餅や言問團子もなつかしい。長命寺の中には『いざさらば雪見にころぶ所まで』の芭蕉の句碑がある。四月の花の盛り、各學校のボート競爭の頃には、此の邊紫紅とり〳〵に賑ふ處である。

▲白鬚神社から近く東に、花に名を得た百花園がある。春は梅で秋は秋草や虫放會で、みやびな人の杖引くところである。文化二年に北野菊塢が此處に梅樹を植えたのが始まりで、以來、千蔭、抱一、文晁なんどいふ人々が、雅筵を開いた。それかあらぬか今日もなほ、文人墨客の入り來る者が多いと聽く。門には『春夏秋冬花不斷』と讀まれる。木母寺には梅若塚がある、昔吉田少將惟房の子梅若丸が、誘拐されて此處に來り、病氣と成つて隅田川邊に棄て去られた『尋ね來て問はゞ答へよ都鳥隅田川原の露と消えぬと』詠じて十二才にして果てた、といふのが寺の縁起である。境内には榎本武揚子の銅像と、天下の絲平の碑がある。

▲鐘淵紡績會社の建物は、巨人の樣に立つてゐる。夜ならば、水に流るゝ灯かげの、黄に紅に輝く事であらう。鐘淵とは懐しき名よ。龜戸村の普門院が、元和六年淺草區の橋場から移轉した時、過まつて釣鐘を沈めたので、其の名が附いたといふ。古りたる物語に富んだ長堤も自動車の響と共に、拓け行くのみである。

＊　＊　＊

七日の東京見物を續くる間に、あはただしい花は咲いて散り、はや若葉茂る頃となりました。記者も逝く春と共に名殘を惜しみつゝ次號を以て筆を止めます。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供のする

二つの惡戯

母の見分けが肝要

佐久千代子

□創造力の促すいたづら

二六時中ぢつとして居る事の出來ない、五歲以上の子供がします仕事の多くは、大抵惡戯と名づけたいもの計りで御座いますが、其の中でも自ら二種に分けて置きたいと云ふ氣が致してなりません。

私共の子供は木製の汽車の玩具を買ひますと二三日で毀してしまひ、土を積んでトロッコの代りに使つて見たり、家を立てる眞似をしたり、又良い入れ物に使はうと思ふて居つた折箱を何時の間にか繰り拔いて郵便箱抔を拵へて見たり、用立てやうと取つて置いた呉服の厚紙で、擊劍のお胴を造つたり致します其の外どちらの御子さんにも數へ立てたなら、こんな事は澤山ある事で御座いませう。けれ共之は子供の創造力とでも申すのでしやう、寧ろ哺み育てゝやる様にし向け、無斷で持ち出した事を輕く諭して置く位が宜しくは無いかと存じます。然し之とは全く違つた惡戯で、先日宅ではこんな事が御座いました。

□ほんとうの惡戯

私が郵便函に手紙を探らうとして、玄關の格子戸明けて外に出ました。當年六歲の四男が後から參り、下り様ともせず、瀬戸の傘立てを足でガタ〳〵動かして居りました。途端に傘立てを倒したので、瀬戸物は大きな響きを立てゝ微塵に碎けてしまつたので御座います。そして子供は廊下傳ひにバタバタと逃げ隠れてしまひました。其の瞬間、こんな芽生えを其の儘で置いたなら、軈ては自動車の轢き逃げもし兼ねぬのであらう。自動車と云ふは一例で御座いますが、と吾れ知らず心が戰きました。

□その場合の懲戒

そう考へながら、破片を拾つて子供の側に持つて行き、其處に子供を端座させました。そして聞いたので御坐います。「毀した事は良い事ですか、惡い事ですか」子供は目に涙を一杯浮べて、「惡い事、間違つてしました。」「惡い事をした時にはどうするのです。」「お手々をついて御免下さいとお辭儀をします。」「逃げて隠れた事は良いのですか、惡いのですか」「只お母さんに怒られると思つて」と云ふ答へでした其のいたいけな様子を見ては、憐れみの情が强くなつて、自然と涙さへ催して參りましたが、猶ほ嚴格な態度で申しました。「惡い事をして謝罪る事もせずに逃げる事は大變に惡い事ですよ。大きく成つてどんな人になるのでしたね」子供は「軍人さんに」と申すのです。「軍人さんになるなら、猶更惡い事をしてはなれません。今度だけは御母さんは決して怒りません、能く分つた筈ですね」と前の事を繰返して聞かせました。サーお父さんが御歸りになつて居らつしやるからお父さんに御詫びをなさいと連れて行きました。お手々をついて詫びは濟んだものゝ、うなだれて居りました。

□ワシントンの父の戒め

これなどはたとへ無邪氣であつても見逃す事の出來ない惡戯の一つで御座いませう。三つ子の魂と申しますが、幼な時代の惡性は早く其の芽を摘まねばなりません。其の摘み方には餘程の手加減が必要であると存じ、神様の恐ろしさを知らすと云ふ事もこんな場合が好機であらう

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あらうと感じました。學校時代にワシントンのお父様が千本の愛する櫻の木を切り倒されたより、汝が一つの僞りも云はなかつた事をどれ程私は嬉ぶか知れないと云はれて、子供のワシントンを抱き上たと云ふ話は時代相應に共鳴して居つた積りでしたが、今になつて一入其の言葉が身にしみるので御座ます。

數の觀念をかうして養つた

鈴木まさ子

口數の觀念に疎かつた子

今年七歳の次男が、小學入學の間際迄、一二三の數をどうしても覺えません。この子の外の能力に比らべ、また兄弟等の傾向を思ひ合せて、數の觀念に疎いとは、寧ろ不思議な事でした。然るに或る日町の方で子供がめんこを打つて居るのを見て來てどうしてもそれが欲しいと申します。學校では禁ぜられて居ると聞きましたが、私はふとこれを善用して見やうと思ひ立つて云ふが儘に買つて與へました。

口めんこを打ちつゝ

そして自分がこの子の相手になつて、一緒にめんこを打つて遊んでやりました。その遊戲の間にめんこで數へる事を敎へましたら、子供は非常な興味につれて、一週間も經たぬ間に十迄を覺え、それから紐の解けるやうに、すら〳〵と數を會得して參りました。今では格別この子の數の觀念が劣つて居るやうにも見えなくなりました。

口暦を玩具にしつゝ

長男は私が正月に貰ふ柱暦を一つ玩具にやりました。すると茶の間にかゝつて居るのと同樣な處から、誰れに聞くとなく日を現はしてある數を覺えて終ひました。そして「坊やけふは何日だえ」と聞くと、二日なら二日と申します。試みに飛んでもない處をめくつて、同じ字を聞きますと、二日と答へます。かうして學校にも行かぬ前に、日々月々暦を弄んだ結果一年の間には日數は勿論、曜日から、十干十二支迄も覺えて終ひました。この子は自然に數に興味を持つたと見えて、學校でも數學は得意の方でございます。私はこれを見て、もし暦のやうに。日々兒童の目にし、手にするもので、もつと敎育的のものがあつたら、どんなによからうかと感じました。

凡て子供の短所は、ふとした機會で、めざましく延びて行く事は、一再ならず經驗する處であります。それ故めんこなども敎育上惡いと斗りは排斥して終はずに、保護者の注意一つで、時に有効に用ひたらよいと存じます。

お化粧問答

問 齲齒が多いために、何時も齒醫者の御厄介にばかりなつて居りますが、直らないで困つて居ります。（本郷 絲子）

答 齒が餘程お惡いのでせうと存じますが、平生の御手當を御注意なされば餘程齲齒は防ぐ事が出來ます。夫れにはなるべく鼻で呼吸される習慣を附けられ口中へ黴菌の侵入を防ぎ、尚御食後には一度微温湯で含嗽をなさいまして、齒間に汚物の挾まらぬ御注意が肝要でございます。朝は齒磨中で齒の爲めに一番よいクラブ齒磨をお使ひになるは勿論三度の食事後就寢前には微温湯にクラブ水齒磨の二三滴を入れて口を嗽ぎ、齒の大敵たる酸の發生を防ぎ、齒と口中の清潔を期せられる事が大切でございます。苟も衞生に御注意なされる御家庭では勿論クラブ齒磨の御愛用が盛でございますが、學理上、實驗と化學的に齒を強く美しくするのみならず、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五月の節句料理

某料理教師

□鯉あづま焼附合金柑甘煮　鯉は鱗を去り、にがりに馴れぬ様にぶつ切りにし、味噌漬にします。味噌は白味噌を擂りて醤油にてとき、どろ／＼にして其の中へ漬け込みます。二時間以上も經過すれば、味よく頂かれます。焼くときは味噌を洗ひ落さずによくこそげ落して串にさして焼きます。

　金柑の甘煮　その皮の部分に、ポツ／＼針をさし、一度茹でゝ苦味をぬき、砂糖を充分にして水少量加へ、文火にて照りの出るまで甘く煮込みます。皿に盛るとき周圍に庖丁目を入れて押しつぶすと、菊の花の様になります。

□（深皿）牛肉武者煮　牛肉は普通の品にてこく挽肉にして、其の中へ古パンを、凡そ五分の一位もみ混ぜ、直徑七分位のお團子に丸め、鍋に酒、醤油、砂糖を甘からく調味し、煮立てゝ其の中へ肉を入れて煮ます。別に葱の白い部分を縦に細くさいて五分位に切つておき、これを肉の上よりパラ／＼に加へ、柔らかく煮て、吉野葛をさいた汁を加へ、くるりとかきまぜ、とろりとする位の加減にし、深皿へもります。

□（小丼）やりいか筍木の芽あへ　やりいかは洗つて細く切り、湯（出汁なれは尚よし）醤油、砂糖を薄く加減し、煮立つた處へ入れてさつと煮て取り出しおき、其汁にて茹でた筍を適宜に切つてこれもざつと下煮をなし。二品とも汁氣を去つて木の芽味噌に和へます。

　木の芽味噌の作り方は、白味噌を擂つて砂糖少量加へ、湯又は出汁にてとろりとする位にのばし、焜爐にかけてから鍋に入れて一寸火にてねり、先の擂鉢にて木の芽を擂りおきたる中へ入れて混ぜます。

□（吸物）あやめ汁　清汁仕立にして中の實に左の品々を入れます。

さやゑんどう　これに兩端のつるを去り、ざつと青く茹でゝおく。

花人參　人參を花に切り、更に皮をむいて薄く輪切にするもよし、これも茹でゝおく。

よせ玉子　玉子をほぐし、よくかきまぜておき、沸湯の中へ入れて煮立てずに火よりおろし、味噌漉をふせて其の上に布巾をおき、玉子をお湯のまゝ流し、布巾を程よくまき、直徑八分位の輪形になし三處へ縦に箸をおき糸にて結びつけしばらくおく。三片の花形になつたとき、布巾を去つて小口から一分位の厚さに切り、椀に盛ります。

左の三品をもり合せ、清汁を盛り、木の芽を口にして出します。右の外に竹の子椎茸、白魚等をあしらへば、椀盛として立派になります。

子供の智慧

□雛様が舞つて居る

美ちやん（四つ）は、空を仰いで「あれ／＼お雛様が舞つて居る」と申します。何かと思つたら鯉幟りの事でした。

□猫はキヤツト

重義ちやん（六つ）はおばあさんが猫を「畜生！」と申しましたら、畜生ではないキヤツトと云ふのだと申しました。畜生とはおばあさんが英語を間違つて云つたのだらうと思つたのでせう。

防腐、消炎、殺菌の力を具へるものとして陸海軍及び帝國大學並に各醫藥専門學校でも理想の歯磨として推奨されて居ります

問　私はお化粧致しましても目がうるんだ様になり泣いた様な目になつて淋しく見えますが。（淡路　一二三）

答　一體にお顔の淋し氣に見える方は晴れやかなお化粧をなさる必要があります。夫かと申して彼の女優式のケバ／＼しいお化粧は最早廢れて矢張純日本固有のお化粧法に幾分外國の美點を加味したクラブの淑女式お化粧法が相變らず、全盛を極めて居ります。淋しい目のうるんだ方はクラブ白粉でお化粧が一通り濟ましたら一應目の下を濡手拭で拭取り、お顔にホンノリ櫻色の健康色を現すクラブ頬紅を目の縁から兩頬へかけて塗りますと晴れ晴れとした美しいお顔になります。尚ほ目の出た方は目の上に白粉を薄くし、目の凹んだ方は目の上を濃く致しますとよく見えます。

Digitized by Google

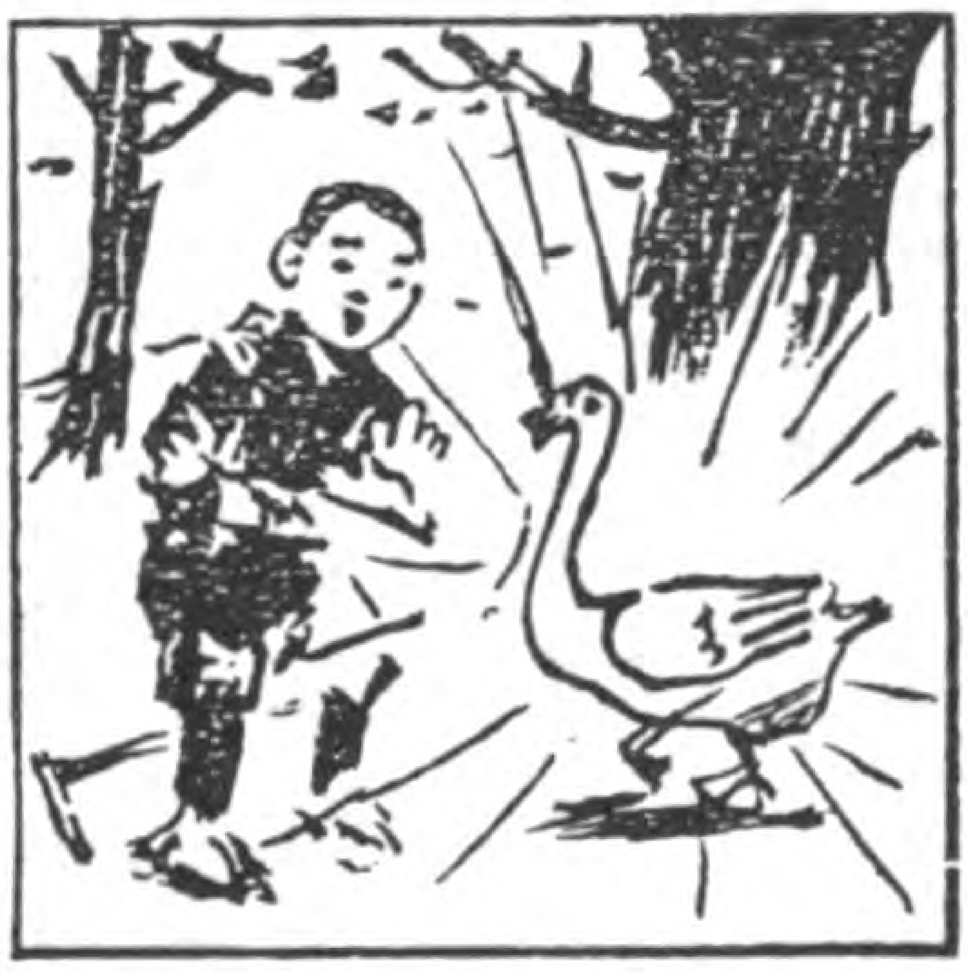
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金の鵞鳥

（下）

悠子

三郎は側にあつた棒片を拾つて、小人のお爺さんが教へてくれた大きな木の根本を一生懸命掘つてゐますと、やがて地面の中でピカッと光つたものが見えました。急いで取り上げて見ると、それは金の羽毛のついた鵞鳥でした。三郎は嬉しくてたまらず、早くお父さんやお母さんや兄さん達に見せて上げやうと思つて、それをかゝへて家の方へ急ぎました。ところが日はもうすつかり暮れてしまつて、道がわからなくなりましたので、途中とある宿屋へ泊ることにしました。その宿屋には三人の娘がいまして、三郎が入つてくる時、金の鵞鳥を見たものですから、その羽毛が欲しくて／＼たまりませんでした。三郎は疲れて、早く寝てしまひますと、姉娘はそつと金の鵞鳥が置いてある室へ入つてきました。そして羽毛を一枚抜かうとしました。すると羽毛はとれないで、自分の指が鵞鳥からはなれなくなつてしまひました。



丁度其處へ二番目の娘が入つてきましたが、姉娘がゐたのでびつくりして「姉さん」と云つて肩に手をかけますと、どうしたのかそれがはなれなくなつてしまひました。やがて今度は三番目の娘が入つてきましたが、これも亦二番目の娘の着物にさはつたゞけで、もうはなれなくなつてしまひました。まるで電氣に吸ひつかれたやうに、どうしてもとれませんでした。三人はどうする事も出來ず、夜が明けるまで、其處でヂッとしてゐました。

翌朝早く三郎は、金の鵞鳥を大事に持つてその宿屋を出ました。三人の娘達は鵞鳥の羽毛についたまゝ、ぞろ／＼と三郎について歩かなければなりませんでした。宿屋の亭主は自分の娘が三人とも鵞鳥について歩きだしたので、びつくりして後を追ひかけました。そして三番目の娘をつかまへますとこれは不思議、手がはなれなくなつてしまひました。三郎はそんな事はかまはずどん／＼驅けだしました。すると向からお寺の小坊主がやつてきました。宿屋の亭主が「助けてくれ」と大きな聲で云ふものですから、急いでかけてきて御亭主の手をつかまへて引き止めやうとしますと、これは大變又はなれなくなつてしまひました。小坊主は驚いて「和尚さん大變です／＼」とゞなりました。

和尚さんは其の聲を聞きつけてやつてきましたが、この様子をみて小坊主がふざけてゐるのだと思つて、大層怒りました。そして「早く寺へ歸つてこい」と云ひながら、小坊主の手を引張りますと、大變です和尚さんの手もはなれなくなつてしまひました。三郎が驅けだすのにつれて、後の六人もつゞいて驅けて行きます内に、この村の村長さんに逢ひました。村長さんは「和尚さん、何處へ行きなさる。そんな眞似をしてみつともないぢやないか」と云つて、和尚さんの衣をつかまへて引き止めやうとしました。すると殘念なことに村長さんの方が反つて引きづられて行つて仕舞ひました。これで行列が七人になりました。三郎はなほも家の方へと急ぎました。そしてある町に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

着きました。

この町には一人の大金持が住んで居りましたが、その人の娘は生れて一度も笑つたことがありませんでした。兩親は大層心配して色々手を盡しましたがだめでした。誰もこの娘を笑はせる事は出來ませんでした。所が三郎がこの町へ入つてきました時、町の人があんまり騒ぐものですから、こゝの家でも何事かと思つて家中で外を見てゐました。すると金の鵞鳥をもつた男の子の後に、村の娘だの和尚さんだの小坊主だのがつゞいて驅けてくる、その様子があまり可笑しいので、皆が笑ひました。今までちつとも笑つたことがない娘まで、思はずホヽヽと笑ひ出しました。兩親は大層喜んで早速三郎を邸へ呼び入れお禮としてたくさんの御褒美を上げました。すると金の鵞鳥は見てゐる内に、眞白な鳥になつて、空高く舞ひ上りました。そして七人の人達はやつと離れることが出來たので、喜んで家へ歸りました。

　三郎はたくさんの御褒美を車に乘せて、丁度桃太郎さんが鬼ケ島から歸つてきた時のやうに勇んで家へ歸りました。(をはり)

手紙 (十八)

渡邊たみ子

夢見しよりぞ人の戀しきと云ふ和歌の上の句は何でしたつけね、と其翌朝Y子さんに尋ねますと擽つたいやうな顏をして、

「昨夜の夢のお話しを聞かして下さるなら教へて上げるけれど」

「いゝわ、そんなら教へて頂かなくつても」

と云ふとY子さんはそれには答えず

　ゆふべの夢の今朝さめて、ゆかし懷かし遣瀨なさ、濟まして黒髮の一ふしを唄ひ出しました。私は其横顏を默つて眺めてやりました。

　其日から私は貴方の事は一切考へまい、一寸でも念頭に浮んだら一刻の猶豫もなく其影を追ひ拂はうと決心しました。影の形に添ふやうに必ず貴方のつきまとふて居る稚い頃の追憶もしてはならない、まして一昨年の秋から此の方の、ともすれば解しかねたりするやうな事などはふつゝり私の記憶から斷ち切つて仕舞ふ事に努力致しました。

　それからです、あまり運動に趣味を有たなかつた私が、テニス、薙刀、園藝などに熱中するやうになつて、あの變りやうはと先生やお友達を吃驚させる樣になりましたのは。

　内氣だつた私はよく笑ひ、よくはしやぐやうになりました。本當に快活になつたのね、と不思議がられるほど華やかにふるまひました。そして一人月を仰いでは涙をこぼし、何とも思はずに聞き馴れた鐘の音にさへ袂を濡らすのでした。

　誰ゆゑに、何の涙なぞとは御問ひ遊ばすな、それは其當時の私自身すらもわからない事だつたのですから。女の大厄と云ふ十九位の年は矢張感情の動搖の激しい時期で御座いませう。

　そんなに貴方を腦裡から追ひ拂はうと企てゝ居ながら、默つて貴方の御手紙を拒絶なかつたのはどう云ふ譯かと思召すでせう。ほんとにまあ何と云ふ矛盾な、不徹底な事だつたのでせう。でも理性と感情と、涙と笑みとが縦横に入り亂れ、あやなして其所にまだ眞の統一を得なかつ

十五

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た彼の時代の私は、稚な友達に對する禮として情として其所まで斷乎とした態度には出られなかつたので御座います。それに貴方の御手紙は女同志の甘い言葉を並べた文を讀みなれ、書き馴れて居る御友達等に見せてもあつさりとした男らしい文章を書く方ねと評される位の文句でしたからね。

私は貴方の御手紙をよく同室の友に見せました。それは自分の清さを周圍からも認められて欲しかつたからです。Ｙ子さんなど貴方の文章がたまらないほど大好きだと云つて暗記までして居ましたわ。

からは申しますものゝ本當の事を云へば、一から十まであらゆる御手紙を皆見せたのではありません、時には深く懐に秘めて、ピアノの練習室に内から鍵をかけて、深い綠色のカーテンを徹す夕陽の光りに、そつと照らして讀んだのもないとは申されませんのです。萌え出でやうとする春の芽を、土を被せて押へ付け、叩き付け、猶飽足らないで大きな石で壓すやうな慘めさは、今から振り返つて見た私の感情です。

草でも木でも根まで摘み取る事は、二葉の中なら譯もない事です。それでも拔き取つた其二葉が日に干されて悼ましく枯れ干からびた樣を見ると強い胸の痛みを覺えずには居られないのが、普通の人情では御座いますまいか。

彼の泉になぞらへた御手紙を拜しますと、彼の頃の精二樣對園の樣子がはつきりと見える樣な氣がします。考へて見ると彼の場合、私がもつと賢明い女でしたら、如何云ふ道を取つたでせうか。又一種の型の、感情のまゝに赴く事の出來る人間でしたならば、今はどんなになつて居たのでせうか。

兎にも角にも處女の貞操は一人の人間に對するのではなくして、絕對のものでなければならぬと云ふ考へから、私等の友情が一歩でも友情の圏外に出る事を懼れたので御座いました。異性の間の友情と戀愛とは考へて見れば、ほんの紙一枚の差だと思ひます。

ねえ精さん、只此紙一重の爲でした、冷たい純潔、孤獨な清さ、自分一個の純潔を護らう爲に浮世の外に離れて仕舞つて、只冷たさを誇つて居るとの御言葉を頂きましたのは。

嘗てかうした心持―私の貞操說を良人に話した事が御座います。良人は斯う云つて批評しました、何と云ふ冷たい貞操なのだらう「さうしたお前の思想は一體何處から養はれたのだ。日本の貞操と云ふものはもとくさうした冷やかなものではない、火の樣な戀愛の變形に過ぎないものだと思ふ。愛する一人の爲にこそ貞操と云ふものもあるではないか、其所に女性の可憐らしさがある、優しさがある。殊に嚴密に云へば我々男子はそ

十六

れ程感情を虐げ殺してまで、强いて玲瓏にと鍛へ上げた處女を要求する資格は恥かしながら持合せて居ないものが多い。それで居ながら多くの男は純潔と云ふ事を第一條件として女に求める、何と云ふ自分勝手な事だ。自分はいくつもく戀をして、いや戀を弄んで居ながら、妻に向つては矢張自分が初戀の對象である事を望むのだ。公平な裁判を下したならば凡ての男子は多くの女の前にひれ伏して過去の罪をば悔い謝せねばならぬ筈だ。」と

私はそれに就て、良人が若しも其所謂「凡ての男子」の一人に屬するものとすれば、自分は何て馬鹿らしい事だつたらうとふと思はれたのです、でも私の良心は直に「惡魔」と叫んで其考へを拂ひ浄めました。

・
・
・

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□兩陛下上野行幸啓　天皇陛下には廿五日午前十時半御出門、皇后陛下には廿六日午前八時御出門、上野竹の臺なる美術協會繪畫展覽會及び電氣博覽會へ行幸啓相成りました。

□吹上御苑に武術天覽　天皇陛下には武術奬勵の御思召を以て、廿四日午後二時吹上御苑御馬場に出御、本郷聯隊區管下豫後備退役將校同相當官九十二名の銃術を天覽遊されました。

□皇太子殿下御誕辰　四月廿九日は皇太子殿下御誕辰祝日とて、兩陛下よりは御使を遣はせられ、殿下には參内御祝儀並に御祝品御下賜の御禮を御言上、正午各宮殿下の參賀あり御宴を賜はりました。午後餘興として東京大相撲の御台覽がありました。

□東伏見宮妃、養育院御成　廿四日東京市養育院に御成りありし東伏見宮妃周子殿下には親しく御巡覽の際川口次助(四才)とて二年前捨子として同院に拾はれたる院兒を高々と抱かせ給ひし御優しさに一同恐懼措く所を知らなかつたと傳へられます。

◉露西亞復辟の報　露西亞前皇太子アレキサンダー・ニコライウイッチは帝位に就き前皇弟のミハエル・アレキサンドロウイッチ太公が其の攝政になつたと傳へられます。過激派全盛の露西亞にも帝政派がありますし獨逸は過激派を恐れてゐますから此の兩者が合して復辟が行はれたものでせう。未だ俄かに信じられません。

◉杉野副領事拘引說　四月廿八日浦鹽駐在菊地總領事發情報に依ればイルクーツク駐在副領事杉野鋒太郎氏及び民會長南三郎氏は軍事探偵の嫌疑を以て露國官憲の爲め拘引されたといふ事です。未だ事實の眞疑は判りませんが事實とすれば大問題であります。

◉日本將校逮捕の說　西伯利チタ地方に於て西本願寺派遣の開教師阿部上納師は密書携帶の嫌疑にて過激派に捕へられ又同地方にあつた寺田中佐及び森大尉の一行も同樣の運命を見たと傳へられますが後者の逮捕は事實でない樣です。

◉米國第二回輸入禁止品　米國政府は四月二十二日第二回の戰時輸入禁止品目を發表しましたが、其内我國に關係ある重なるものは竹細工品、麥稈細工品、扇、家具類、毛皮、人毛の製品です。之等諸品に對する本邦輸出の打擊は餘り大きくなく、年額五百萬圓位であります。

◉次官副總裁任命　鐵道院副總裁には技監長谷川謹介博士、內務次官には土木局長小橋一太氏の任命を見ました。

◉婦人の國際問題研究會　豫て計畫中であつた日本婦人の國際問題研究會は廿五日午後四時から新渡戶博士邸に發會し新渡戶夫人、鳩山春子、目賀田男夫人櫻田節彌、井上秀子の諸氏二十名出席會規を決議しました。同會の趣旨は東西の理解を增進して國際問題に關する日本婦人の研究に資する爲め專門家に講話を依賴するさうです。

◉食糧自給の協議　食糧自給問題は歐洲大戰の一大教訓ですが、我が農商務省にても五月十六日より六日間全國の農務關係官二百餘名を召集して、食糧農作物改良增殖協議會を開きます。

◉外國米管理令出づ　米價暴騰の爲め政府は種々の方法を以て其引下に努力されましたが少しも效果が現はれませんので、四月廿六日外米管理令を出して政府自ら外國米の管理に任ずる事になりました。其方法は農商務大臣が指定した輸入商に限り、外國米の買入を許し、之に補給金を與へて政府の定めた一定の相場で賣らせるのであります。若し此れでも目的を達せられぬ場合は、政府自らお米屋を始めると云つて居ります。

◉熱心な教授に研究費　文部省にては直轄學校三十有餘の教授中、科學研究に熱心なる教授に對し、其の研究費を補助する事となりました其總額は年十五萬圓です。

◉所澤第六期生卒業式　は四月廿九日擧行、閑院大將宮殿下御臺臨、奥川村兩帥、陸相、參謀長等列席にて永淵中尉以下十二名の卒業將校は卒業證書及び飛行徽章を授與され、優等卒業者野口勇次郎中尉は恩賜の銀時計を拜受しました。

◉至急取掛る電車線擴張　東京市內電車の一ヶ年の乘客は二億七八千萬人あり玆數年を出でずして三億五千萬人に達するだらうと云ふので市電氣局では大正七年度より十年度までに五十四哩の未成線速成を期し市參事會に提案しました。工費は約三千萬圓で多分公債に依るのでせう

◉東京女子大學の開校式　は四月卅日擧行されましたが生徒は人文科八名、國漢文科十一名、英文科四十二名、實務科七名、其の他十六名合計八十四名であ

十七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ります。

◉支那軍艦汽船を沈む　支那段總理座乘の軍艦楚泰は四月廿六日漢口南京間にて支那汽船江寬と衝突し、汽船沈沒し千餘名溺死せりとの報があります。

◉東京市内の細民數　警視廳の調査した處に依ると腕一本で十分に自活の出來ぬ細民は東京市民三十三人に對し一人の割で區別にすると左の通りです。

▲深川一四、九九二 ▲本所一二、五二一 ▲小石川一一、一五九 ▲下谷七、八四〇 ▲淺草四、〇〇〇▲牛込二、九八二 ▲四谷二、二〇〇▲芝二、一七七▲京橋一、四五五▲麻布一、二六四 ▲神田一、一六九 ▲本郷七八〇▲赤坂五二六 ▲麹町一八四▲日本橋一六二。

◉東京市の低能兒　東京市教育會の囑托に依り兒童研究家三田谷ドクトルの調査した處に依ると、東京市小學兒童中學業成績劣等性格異常なる特殊兒童は男兒二・五パーセント、女兒一・四パーセントにて全市二十萬の兒童中四千餘名に及ぶ譯であります。

◉東京府下の養鷄數　東京府では府下の小學兒童を煩はして二月廿八日現在の鷄飼育高を戸別に調査したが其結果は親鷄卅一萬七千五百、雛鷄六萬三千六百合計卅八萬千百羽で一ヶ年の産卵高三千萬個に及ぶ事が判りました。

◉公設市場と大阪商人　大阪市に公設野菜市場が出來てから普通野菜商人は市場同樣の値に引下げて對抗策を講じてゐるが、客が減つたので種々市場に妨害を加へんとしてゐます。然し四ケ所の公設市場は依然大繁昌で十日間の賣上高五萬圓に及びました。

◉鈴木さん二百人の集ひ　豫て鈴木久次郎氏等に依り發起されてゐた鈴木同族會は、四月廿八日上野精養軒に開かれ、官吏會社員學生等鈴木さんばかり、二百餘名集ひました。鈴木氏の元は穗積姓で、其祖先は神饒速日尊、伊香色雄尊で、鈴木姓の起りは紀州であるが、後三河から千葉へと移つたので、今では三河と千葉が一番多いといふ事です。

◉腦脊髓膜炎は傳染病　目下大阪神戸地方に流行してゐる腦脊髓膜炎は、四月廿七日附内務省令で傳染病の取扱ひを受ける事となりました。

◉米國から贈られた珍木　先年東京市から櫻樹數千本を米國へ贈つたので、其お禮として曾て二回ほど米國から種々の木を送られたが、今回三度びスウキングル博士がカルミヤ樹を齎らして來朝し、東京市へ寄贈しました。そのカルミヤは四月廿九日日比谷公園に植ゑられましたが米國特産で彼國の國花的植物の表象とされてゐるものです。

◉ハーデー翁の歸米期　ハーデー翁は五月九日發歸國する事になりましたので、四月廿七日青山學院に送別接見會が開かれました。

◉臺灣の珍客來る　臺灣南北生蕃男五十名、女五名の觀光團は總督府の役人に引率されて廿五日東京に着き、諸所見物中です。

◉文學士の特殊小學校長　本所太平町に新築中の太平小學校に、五月中旬より同校し校長に　文學士吉田圭氏が任命された、氏は十年來麻布の特殊學校絶江小學校に訓導たり、貧民教育に　從事するを天職としてゐる人であります。

◉大島久滿次氏逝く　永井荷風氏の叔父に當る　代議士大島久滿次氏は廿六日逝去、享年五十四。氏は臺灣民政長官神奈川縣知事等に歴任しました。

編輯室より

▲はや苗賣りの聲が、巷に聞えて參りました。土の香りに遠ざかつて居る此處等邊の生活には、殊になつかしき音信にきかれます。▲樺太泊居の農園から、グリーンピーンスが屆いて、社の玄關は、その俵で賑つて居ります。既に三十俵餘り皆樣にお頒けしましたが　まだ殘つて居ります。四斗一升入十三圓、一升ならば三十五錢（凡て送料先方持ち）でお頒けしたいと思ひます。市中にあるより青々しくて甘味がございます。

婦人週報
（每週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢五厘（郵稅共）
△一ヶ月（四部又は五部）金廿二錢
△三ヶ月（十三部）金六拾六錢
△半年（廿六部）金壹圓廿錢
△一年金貳圓四十錢
△外國一年分金參圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の內側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書にかふ

編輯兼發行 印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります、但しこれは依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜木曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）

人事相談所

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

会員募集 家事裁縫研究會

本校に於て家事裁縫兩科の研究會を毎日午後四時より二時間開會講師は各專門の大家にして文部省の檢定を受けらるゝ方にも又府縣の檢定を受けらるゝ方にも一般研究者の爲めにも適應す本校家政部高等科の生徒は聽講隨意

開講 四月十五日

東京市麹町區上六番町七

私立 大妻技藝學校

電話番町一二二〇番

シンガー裁縫院

生徒募集

●和洋服刺繍(東京有樂町一ノ五)

●ミシン專修

●毎月五日迄入學

弊店の特色

御召 織式 縞染

△古手物モ新規同樣ニ相成候

△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候

△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地
(玉川電車通西郷邸前)

百足屋染物店
平田孫太郎

蛋白質に富む

植物ミルクフード

見本袋入拾錢 郵税二錢

三十回分 五十錢

小包料市内四錢内地八錢

滿、鮮、臺、樺、金廿錢

救命瓶

並製 金參圓

特製 金五圓

學生用一組 金一圓四十錢

送費(内地卅錢。滿、鮮、臺、樺、金五十錢。海外金參圓)

婦人週報社代理部取扱

振替東京三一六六〇番

タッタ七十五錢で

主婦の御手際となつて

一層家庭を明るくします

賣れる 賣れる 忽三版

日本一の安い講習料

日本女子大學家政科助教授 若原榮代子先生著

誰にも出來る

絞り染の仕方

四六判頗美裝▽定價七十五錢
二百數十頁▽送料六錢

東京京橋濱町六

電話京橋三〇三六番
振替東京二九〇〇五番

美しい絞り染の仕方を、恰も家庭で大學の講習を授ける樣に、最も手輕に一々寫眞と圖解で、誰れにも分り易く述べ、帯半襟袱紗の古い物でも、見違へる程美しく使へる。經濟と趣味とを兼ねた家政の活きた先生です。一日早ければ一日の徳!

時事新報評曰永久に役に立つ良書たる事を保證す

東京割烹實踐會編

大好評 一品三錢で出來る おいしい料理

定價六十五錢 送料六錢

面白く分る十二ヶ月、繪入實驗六百種

材料に金を掛けないのが特色

▲特色▼

◎寫眞木版七十餘

◎斬新なる技術

◎手輕に出來る

◎而かも實用向

◎廢物利用

天才社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕 但祭日及日曜の他
院長診察月木金午前及木午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京麹町區三番町卅番地(市ヶ谷見附内)
電話 六二番 五一六番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎朝 但祭日及日曜及土曜の他

大黒天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分を含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 甲斐産商店
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科專門
(入院隨時)

大野醫院

院長 耳鼻咽喉科醫 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設ケアリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 二二五七

東京至誠病院

◎内科◎小兒科

宅診午前 往診午後

藤井診療所

藤井かう子
本郷區彌生町二番地ハノ三十三號
(電車高等學校前下車)
電話小石川一六四六(呼出し)

産科、婦人科、小兒科

東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 井出茂代
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
(電 京 一二二三一番)

家庭衛生講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部內。
一、期間 自毎月十六日至翌月十五日水金午後二時より四時迄。
一、講習料 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部(電話芝一七五三)に申込まれたし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御園白粉及御園化粧品は畏くも御料に召させ給ふ本邦唯一完全優良なる化粧料にして最新の科學に依り原料と芳香を精選し皮膚の衞生と美容の目的に適ふ配合を以て冗費を省き包装を飾らず實質を本位とする化粧品なり。

御料 御園白粉（みそのおしろい）

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全なるは勿論永久の保存と氣候の變遷に堪へ効能に變化なく濃淡自在乗りよく伸びよく斑點を生せず生れ乍らの美さを現す事化粧品界に其比を見ざる白粉中の模範品なり。

御園白粉
（水白粉）御園の月
（粉白粉）御園の花
（ネリ白粉）御園撫子
（懐中用）御園紙白粉
（化粧水）御園四季の花
（化粧水）御園の露
（化粧用白粉下）御園の蕾
（洋風化粧料）御園クレーム
御園香精
（化粧香水）御園の橘
（頭髪水油）御園香油
御園歯磨
（日焼防止化粧料）御園ルチゲン

本舗 伊東胡蝶園　發賣元 丸見屋商店

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社 電話番町四五六六番・振替東京三一一六六〇番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA